

有馬の蛾より

岡村 八郎、森 博

はじめに：

筆者の一人、森 博は神戸市北区有馬町に永住しているが、1960～1961(昭和35～36年)を中心として数年間、有馬温泉街の街燈に群れる蛾を採集した。私(岡村)は森氏からいろいろ御教授をうけ、彼が今まで誌上に発表されたことは殆どない由を承っていたが、彼は最近病身で、凡そ500種に及ぶ標本も、充分に同定できないまゝ古くなったのもあり、全部の目録を作るのも大変なので、とりあえず森氏の採集された中で、御自まんの種を紹介されたいとお願いしたところ、北隆館の昆虫大図鑑(1)、及び保育社の日本蛾類図鑑上、下を参照して、比較的少ないとされる36種を選んで私に通信してこられた。

こゝにそれらの種を列記して同好者の参考に供する。順序は北隆館の昆虫大図鑑(1)に従った。

スズメガ科

1. *Oxyambulyx ochracea* Butler.
ホソバスズメ, 1960年7月21日採集 (以下年月日
簡略)
2. *Oxyambulyx schauffel bergeri* Bremer &
Grey

モンホソバスズメ 61. 7. 30

3. *Smerinthus tokyonis* Matsumura
コウチスズメ 61. 7. 22

ヒトリガ科

4. *Spilosoma bifasciata* Bütler
フタスジヒトリ 60. 6. 18

ヤガ科

5. *Cryphia obscura* Warren
キノコヨトウ 60. 6. 71. 8. 22
6. *Helicoverpa assulta* Guenée
タバコガ 60. 6. 26
7. *Ochopleura praecurrens* Staudinger
オオホソアオバヤガ 60. 7. 21

8. *Xestia stupenda* Butler
マエキヤガ 60. 9. 21

9. *Hadena aberrans* Eversmann
コハイイロヨトウ 60. 8. 23

10. *Leucania salebosa* Butler
オオスジシロキヨトウ 60. 8. 18

11. *Actinotia inter mediata* Bremer
コモクメヨトウ 61. 7. 1

12. *Dypterygia caliginosa* Walker
クロモクメモトウ 61. 6. 12

13. *Bambusiphila vulgaris* Butler
ハジマヨトウ 60. 8. 16

14. *Polyphaenis subviridis* Butler
ウスアオヨトウ 60. 6. 25

15. *Amphipyra tripartita* Butler
シロスジカラスヨトウ

16. *Mormo muscivivens* Butler
アオバセダカヨトウ 60. 6. 6

17. *Dysmilichia gemella* Leech
モンオビヒメヨトウ 63. 9. 17

18. *Athetis albisignata* Oberthür
シロテンウスグロヨトウ 60. 8. 8

19. *Sphragifera biplaaga* Walker
コマルモンシロガ 60. 7. 27

20. *Artena dotata* Fabricius
ツキワクチバ 60. 8. 22

21. *Ophiusa olista* Swinboe
コヘリグロクチバ 61. 7. 16

22. *Poralleria maturata* Walker
ムラサキアブトクチバ 60. 8. 16

23. *Oraesia emarginata* Fabricius
ヒメエグリバ 61. 9. 17

24. *Sypnoides hercules* Butler
アヤシラフクチバ 61. 7. 1

シャチホコガ科

25. *Cerura menciana* Moore
オオモクメシャチホコ 60. 9. 3

26. *Nerica bipartita* Butler
ナカスジシャチホコ ?

ドクガ科

27. *Lymantria xylyna* Swinhoe
アエグロマイマイ ?

28. *Euprotis curvata* Wileman
マガリキドクガ 59. 7. 19, 60. 9. 16

シャクガ科

29. *Geometra glaucavia* Ménétries

- コシロオビアオシヤク 63. 6. 17
 30. *Gelasma ambigua* Butler
 ツバメアオシヤク 60. 8. 2
 31. *Jodis dentifascia* Warren
 オオナミガタアオシヤク 60. 6. 16
 32. *Carige irrorata* Butler
 ヒロバトガリナミシヤク 60. 6. 23
 33. *Fascellina chromataria* Walker
 エグリエダシヤク 60. 7. 23

マドガ科

34. *Herdonia margarita* Inoue
 ギンスジオオマドガ(モリヤママドガ) 60. 7. 9

メイガ科

35. *Polythlipta liguidalis* Leech
 ツマグロシロノメイガ(マダラシロオオノメイガ)
 61. 5. 31
 36. *Sitochrosapalealis* Denis & Schiffer
 müller
 ウラグロシロノメイガ ?

あとがき：

十分に他者の採集目録や文献を参考にしていないので、現在の珍しい種とくいちがう所もあると思うが、森氏の御苦勞の一端を紹介した。

森は同好者の御質問や御意見を期待するので、お気づきの点は本誌や森 博宅へ御通信下さい。

(文責：岡村)

参考文献：

- 原色昆虫大図鑑 I (蝶・蛾) 篇：北隆館
 原色日本蛾類図鑑上, 下. : 保育社
 日本産蛾類大図鑑 I, II : 講談社

筆者：

岡村八郎：〒658 神戸市
 (大, 14年生) Tel, 神戸(078) 851-
 森 博：〒651-14 神戸市
 (明, 44年生)



タテハチョウ科の習生の変わった 越冬幼虫 2 例

木村 三郎

1. 遅くまで葉上にいたゴマダラチョウ

自宅庭に植えてあるエノキで、例年なら11月の中旬には、すべての幼虫が木の下に降りているのが観察されるのに、ほとんどの葉が落葉した1986年11月10日、下枝に2頭の幼虫が、ミスジチョウの越冬幼虫のように葉枝基部に吐糸して葉と枝とをしっかりと結びつけて中央部に静止しているのが観察できた。

その後もずっと見ていたが、霜や氷が張ったにもかかわらず遅くまで樹上に静止していたのが12月12日まで見られたので、気温とともに報告しておきます。

11月 1日～5日		最低気温 3℃	最高気温 21℃
6日～10日	観察日○	2	19
11日～15日	○	2	17
16日～20日	○	2	17
21日～25日	○	2.5	16
26日～30日	○	-0.5	12
12月 1日～5日	○	-0.6	13.5
6日～10日	○	-1	13
11日～15日	○	0	13
16日～20日		-1.5	13.5

2. 木のくぼみにいたミスジチョウ

1987年1月4日、蝶友の近藤伸一氏、谷川勝彦氏ら4人で生野方面へゼフ卵とミスジチョウの越冬幼虫の調査に行った時、生野ゴルフ場附近にてカエデの樹上の枯れ葉上で越冬している個体を捜していたところ、木のくぼみにたまった落葉を見ながら、ふと思いついて(ゴマダラチョウであれば、こういう場所にも越冬幼虫が観察できるのだがと言いながら)なにげなく、葉をめくって見ると偶然にも樹皮と落葉を糸でからめ中から、幼虫を見つけることが出来た。附近のカエデも調らべて見ると、もう一例谷川勝彦氏が確認採集された。ミスジチョウについてはこのような事例は報告がないと思われるので、報告しておきます。

調査及び発表についてご協力いただいた諸氏に厚くお礼申し上げます。

(S.03: Saburou Kimura 飾磨郡夢前町)